【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】　　基幹大槌 43

事業番号　A-4-2
事 業 名　遺跡調査事業（震災復興支援）　大槌町

事 業 費　総額 0.31 億円　（国費 0.23 億円）
（内訳:共済費・賃金 0.03 億円、旅費 0.1 億円、需用費 0.04 億円、使用料 0.14 億円）

事業期間　平成 24 年度　～　平成 29 年度

事業目的
東日本大震災津波からの復興に係る開発事業（道路事業、区画整理事業、災害公営住宅建設事業等）に先立ち、埋蔵文化財の分布・試掘調査を行うとともに、被災により自力での調査実施が困難な大槌町の試掘・本調査の支援を行うことによって、埋蔵文化財保護と開発事業との円滑な調整を図るもの。

事業地区
大槌町

事業結果[調査概要]
○　平成 30 年３月調査終了
○　調査結果
埋蔵文化財の分布・試掘調査、工事立会い及び大槌町の調査支援を行った。
＜遺跡等数＞
分布調査 15 遺跡、試掘調査 24 遺跡、工事立会１遺跡、町支援４遺跡

事業の実績に関する評価
①　事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価
[調査・分析]
○　先行的な埋蔵文化財の分布・試掘調査等の実施によって、埋蔵文化財の保護と円滑な開発事業実施の両立を図ることができ、大槌町の早期復興に寄与した。
○　調査成果の活用や現地での説明会等によって、地域住民の埋蔵文化財に対する理解が深まるとともに、地域の文化財を見直す機会となり、文化的向上の一助となった。
[評価]
上記のとおり、先行的な埋蔵文化財の分布・試掘調査等の実施によって、埋蔵文化財保護と開発事業との円滑な調整が図られていることから、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。

②　コストに関する調査・分析・評価
[調査・分析]
○　岩手県会計規則等に基づき契約手続きを行っている。
○　調査機器等の契約の際に一括契約を行うなど、他地域における遺跡調査事業との連携を図ることによって、コスト削減に努めた。
[評価]
上記のとおり、会計規則等に基づく契約手続きを経て実施された事業であり、調査機器等の契約において、他の事業実施地域と一括契約を行うなど、コスト削減にも努めていることから、本事業に要したコストは妥当と判断する。

③　事業手法に関する調査・分析・評価

［調査・分析］

	想定事業期間	実際の事業期間
調　査	平成 24 年度～平成 27 年度	平成 24 年度～平成 29 年度

○　開発事業の計画変更等に伴う調整に時間を要し、事業期間が延伸した。

○　調査自体の大きな遅延は無く、開発事業に影響を与えずに計画的な調査を実施することが出来た。

［評価］

上記のとおり、開発事業計画の変更等に伴い、事業期間が延伸したものであり、その後の開発事業に影響を与えることなく、計画的な調査を実施していることから、本事業の手法は妥当であったと判断する。

事業担当部局

岩手県 教育委員会 生涯学習文化財課　電話番号：019-629-6182

別　紙

Ａ－４－２　遺跡調査事業（震災復興支援）　大槌町

【位置図】

【赤浜Ⅱ遺跡（町支援）　調査風景】

【赤浜Ⅱ遺跡　地元中学性による発掘体験の様子】